

チェーンストアAI分析研究会シンポジウム

小売店舗における 販売イノベーションの可能性

チェーンストアAI分析研究会は、店頭に設置したAIカメラやIoTソリューションサービスで収集したデータから顧客属性や動線などを分析し、新たなマーケティング手法の実施と推進を行うことを目的に、発起人・大山健太郎、座長・早稲田大学教授 恩藏直人を含む4社3校で、2020年10月に発足しました。本研究会では、小売店舗を中心に、センシング技術を活用した実証実験を約3年半にわたり行ってまいりました。今回のシンポジウムでは、その活動の成果の報告及びパネルディスカッションを行います。

2024年3月28日(木)

15:00～17:30(予定)

会場：早稲田大学 11号館4階大会議室
(新宿区西早稲田1丁目6)

シンポジウム内容

本研究会の紹介	甲斐 省吾 (アイリスオーヤマ株式会社)
研究発表	
店舗内購買行動とマーケティング施策～ クーポンのデザインによる影響～	石井 裕明 (早稲田大学)
ロボットがもたらす従業員への効果	石田 大典 (同志社大学)
販促ツールとしてのサービスロボット	恩藏 直人 (早稲田大学)
休憩	
パネルディスカッション 「ロボットを活用したリテールメディアの可能性について」	
(登壇者(予定)) 恩藏 直人 (早稲田大学)、石田 大典 (同志社大学)、石井 裕明 (早稲田大学)、 深谷 聡志 (DCMホールディングス株式会社)、千田 直哉 (株式会社ダイヤモンド・リテイルメディア) (モデレーター(予定)) 菊地 悠一 (アイリスオーヤマ株式会社)	

主催：チェーンストアAI分析研究会
共催：早稲田大学マーケティング・コミュニケーション研究所